

# 新年 謹賀



新年明けましておめでとうございます。昨年度は7月におこなわれた参議院選挙で、自民党が多数を獲得。衆議院と合わせて自民・公明両党で過半数を占め、この結果を背景に安倍政権

は、憲法改悪に向けて暴走をはじめました。しかし同時に、憲法改悪をねらう動きに対して、憲法を守る生きかそうとする国民の願いや幅広い共同のとりくみもまた大きく前進しました。「96条改悪」の狙いが大きく後退したことはその一つの表れでした。

安倍政権が、憲法改革の究極の狙いを憲法9条改革に定めつつ、憲法改革のハードルを下げようとした「96条改悪」は、改憲派も含めた激しい批判にさらされ、憲法の原則である立憲主義、国民主権など憲法の本質論に発展し、後退せざるを得なかったのです。

## 安倍・生徒との共同の学校づくりで安倍「教育再生」を許すな!

このような情勢のもとで、2014年度の私たちが高教組の運動は大変重要です。安倍自公政権の暴走を阻止するためには、私たちがとりくみが必要となります。国民・住民と一体となる必要があり、教育課題、社会保障の課題、経済問題の課題、労働問題等様々な課題で悪政に反対する民主団体、労働団



執行委員長 大場 雅信

## 憲法を守り、生かし、子どもと教育を守るとりくみを大きく前進させよう!

## 安倍自公政権の暴走を阻止する世論を大きく広げよう

「教育再生」会議を設置。改悪教育基本法の具体化を狙い、競争と管理の教育政策をいっそう強化



# 長崎高教組新聞

発行 長崎市中川2丁目2番5号  
長崎高教組会館  
長崎県高等学校教職員組合  
電話 (095) 827-5882  
FAX (095) 826-2976  
編集責任者 大場 雅信  
購読料 一部10円  
組合員は組合費に含む  
メールアドレス naga-kks@fsinet.or.jp

明けましておめでとうございます  
shoubunryoku  
ごぞいませ

し、新自由主義的な構造改革を教育現場に持ち込もうとしています。このことからわかるように安倍政権の憲法改悪の暴走はますます加速しているのです。

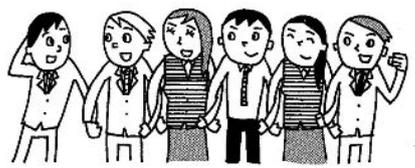


北村 佳久 全教委委員長

## 全教 新年の挨拶 職場の息苦しさを吹き払い、猛烈な多忙から解放され、学問と研究の自由が保障される学校の実現を!

教育を考えるついでに、長崎市で開催します。父母や高校生も参加するこの「つどい」に参加し、

全教は、学力テスト体制をあり、「競争と管理」を強める教育政策に反対します。



学力テストと一体にするめられる学校評価、教職員評価の押しつけは、子どもたちを苦しめ、教

職員を追い立て、追い込んでいます。文科省が、「日本再生」のために「教育再生」を実現するのだと、『労働生産性を高め、働き手を確保するために、世界に勝るグローバル人材の育成と世界トップレベルの学力の実現』(文科省概算要求より)を打ち上げているからです。

「教育再生」と憲法改悪は一体のものであり、絶対に許すことはできません。全教執行部と全国をいかずとりくみをすすめる1年のスタート

## 圧倒的多数の中央委員の参加で 第215回定期中央委員会を 成功させよう!

- 日時: 2014年1月25日(土) 10時30分  
場所: 大村市民会館(大村市東本町574番地)  
参加対象: 各職場の全中央委員(組合員は誰でも代理参加可)
- 議案
- 第1号議案 2014春闘及び当面の運動方針決定に関する件
  - 第2号議案 2013年度組合会計更正予算に関する件
  - 第3号議案 2014年度組合会計暫定予算に関する件
  - 第4号議案 2014年度本部役員選挙公示に関する件
  - 第5号議案 専従役員補償に関する件
- ※第1号議案の概要は裏面に掲載

緊急シンポジウム

「これからどうする?」『秘密保護法』開催

2013年12月23日、長崎市男女共同参画推進センター(アマランス)で緊急シンポジウム「これからどうする?」『秘密保護法』(主催:憲法改悪阻止長崎県共同センター)が開催されました。富塚明さん(長崎大学准教授)、森永正之さん

秘密保護法は国民の知る権利を著しく制限する

森永正之さんは弁護士の立場から「特定秘密保護法」の中身を詳しく解説しました。その中で、「国民の知る権利を著しく制限する内容となっており、国民に情報が知られられないことに繋がる問題である。この法律に



▲3人のパネラーによる特定秘密保護法の解説

よって、行政府が国会や裁判所に制限を加えることが可能になり、広く捉えれば、憲法の三権分立の崩壊に繋がるなどの問題点を挙げました。

アメリカさえも秘密保護法の身に懸念をあらわしている

富塚明さんは、特定秘密保護法が提出されるまでの経緯に触れ、2000年にアメリカからの「機密情報保護法」の立法の要求がそのはじまりであったが、安倍政権が出したものは「アメリカも眉をひそめる内容」になっており、官僚の思惑が大きく反映されている。アメリカの秘密保全法は情報開示のための積極策がとられており、国民の自由・知る権利が徹底され、情報開示を進める方向が鮮明になっている点で「秘密保護法」とは正反対、アメリカでは秘密指定対象事項が類型化され制限されているのに対して、日本では曖昧

情報は国民のものであり、国による情報の操作は国益の損失

高橋信雄さんはマスコミの立場から、秘密保護法の危険性を知るには、過去の言論統制の歴史を振り返ることが必要であることを説明し、日本での言論の抑圧がアジア太平洋戦争の拡大に繋がったことやアメリカのイラク開戦のための「ねつ造報道」がアメリカの重大な国益を損ねる結果となったことなどをあげ、「権力者が言う国益は、しばしば国民の不利益」となることは歴史が証明している」と話されました。

教育全国署名原簿議会請願

請願の趣旨には理解が示されたものの、結果は不採択

長崎高教組は、毎年、「長崎のゆたかな教育をめざす会」(めざす会)の事務局として、国会に向けた「ゆきとどいた教育を求める全国署名」と

国に少人数学級実現を求める意見書は、すでに提出済みとの判断で今回は見送り

「めざす会」は、今年度も4754筆を県議会に提出し、少人数学級の実現、教職員増などのための教育予算を増やすこと、臨時教職員大幅に減らし、定数内の教職員をすべて正規採用とすることを要請しました。12月11日に行われた文教厚生委員会では、高教組の小田副委員長が、30人以下学級の必要性、教職員定数増の必要性などの請願の趣旨説明をおこないました。これに対して、委員(県議からは「35人以下のクラスを順次増やしていく必要がある」など私たちの要請に理解を示す意見が出たものの「財政上厳しい」として、請願は賛成少数で不採択となりました。



▲請願の趣旨説明をする小田副委員長

す。教育全国署名の提出は2月通常国会の予定で、2月の国会提出まで署名をさらに積み上げることができるよう職場の奮闘を期待します。また、14年7月からはじまる14年度の教育全国署名のとりくみの奮闘も合わせてお願いします。

第215回定期中央委員会 第1号議案の概要

- 1、組織拡大のとりくみ
2、教職員の生活と権利を守るとりくみ
3、民主教育確立のとりくみと情勢
4、教育条件の充実を求めるとりくみと情勢
5、憲法を生かし、平和と民主主義、国民の命とくらしを守るとりくみ
6、春闘をめぐる情勢

1、組織拡大のとりくみ
昨年度の現勢回復に向けて年度末まで何としても2桁の加入を目指します。職場の困難を乗り越え、団結し加入の呼びかけをおこなうことを大会で確認しましょう。
2、教職員の生活と権利を守るとりくみ
管理と競争の教育政策が強められる中、教職員の多忙は過酷さを極めていきます。部活動、進学シフトでの際限のない長時間過密労働。公務員を標的にした賃下げの連続。対抗軸は職場の団結による働きやすい職場を追求することと住民との共同のたたかいです。支部での具体的とりくみの交流が必要です。
3、民主教育確立のとりくみと情勢
教育研究集会は民主教育確立のための大きなとりくみです。高教組運動の両輪の一つとも言えます。夏と秋の教研を中心に職場の同僚を教研運動の輪に誘い込むことが必要です。各地での網の目教研の実践報告に注目しましょう。
4、教育条件の充実を求めるとりくみと情勢
少人数学級を求める請願は一歩前進しました。署名数はこれからの本番です。後退した「高校無償化」が現場に与える影響を広く訴え、高校完全無償化の実現までとりくみを強化することを中央委員会で確認しましょう。
5、憲法を生かし、平和と民主主義、国民の命とくらしを守るとりくみ
憲法を守り生かすとりくみは、改憲の狙いを打ち崩す力があります。各地の学習会への参加、そこでの議論を交流しましょう。平和に関わるとりくみの実践や報告も重要です。
6、春闘をめぐる情勢
春闘の課題はアベノミクスの対抗軸の構築にあります。大企業中心社会から労働者が安心して働ける社会の実現のため政治の転換が必要で